

～ 方南図書館 実習報告 ～

杉並和泉学園 第8年生のレポートです。

5月18日（水）と5月20日（木）の2日間、図書館の仕事を体験しました。

☆ 取り組んだ仕事と感想 ☆

- 配架
- 書架整理
- 本の修理
- リサイクル本の整理
- 交換便の処理（返却本と予約本の仕分け、返却本の処理）
- お話会準備



普段見ることができない図書館の裏側を見ることができてよかったです。何気なく借りたり返したりしているけれど、見えないところで本の整理など大変な作業をされていてすごいな、と思いました。また、思ったよりも動くことが多く、本当に大変なんだなと思いました。



☆ 杉並の図書館について、どう思う？☆

館内は広くて本が多くてすごいと思いました。また、本がきれいに整理されていたり親と子どもの事も考えてあって良いなと思いました。

☆ オススメの本を教えてください ☆

『ライオンと魔女 ナルニア国物語』

C.S.ルイス/作，瀬田貞二/訳（岩波書店）



このお話は戦争でそかいしてきた4人のきょうだいのお話です。末っ子のルージィは衣装だんすに入ってしまう。するとルージィの目の前には雪景色が一面に広がっています。それをきっかけに4人きょうだいのナルニアでの冒険が始まります。4人はぶじに帰れるのでしょうか？ぜひ読んでみてください！

☆ オススメの本を教えてください ☆

『D坂の殺人事件』

江戸川乱歩/著 (KADOKAWA)

「D坂の殺人事件」は推理小説で図などがかいてありとても見やすいです。私は「D坂の殺人事件」を読み終えて、人間の記憶や人の心情というものがとても心に残りました。この本は推理やミステリーが好きな人にはおすすめです。この本はとても読みやすいのでぜひ読んでみてください。



☆ オススメの本を教えてください ☆

『妖怪アパートの幽雅な日常 1～10』

香月日輪/著 (講談社)

この本は、ある普通の学生だった稲葉夕土が寿荘に住む事になり、そのアパートは、妖怪が住むアパートで、その日常を書いた本です。この本は、十巻まであって長く楽しめるし、漫画もありますので、ぜひ手に取って読んでみてください。

☆ オススメの本を教えてください ☆

『天久鷹央の推理カルテ 1～4』

知念実希人/著 (新潮社)

この本は様々な怪奇現象を医学によって解明していく推理小説です。主人公の鷹央のくり広げる天才的な推理と助手の小鳥遊とがかわすコントの様なやりとりはとても面白いです。どんな人でも読める本でシリーズ展開ですが一話完結系なのでおすすめです。ぜひ読んでみてください。

